

# つながり No.1

高槻の宝石！

# 高つきレモン



## 高つきレモンとは？

「高つきレモン」は、私が住む高槻市の名誉市民である高崎達之助氏がアメリカから苗木を持ち帰り、育て始めたマイヤーレモンです。

高つきレモンは甘みが強く、果肉も食べられるので、お菓子作りにも利用されます。糖度は通常のレモンの約1.5倍で、ミカンに匹敵します。

政治家であり実業家でもあった高崎達之助氏は、マヨネーズ「キューピー」の名付け親です。また、莊川桜を移植し、笠部氏とともに保全した人物としても有名です。



## 高校での再会

高校進学後、なんと、私の通っている茨木高校が、高崎達之助氏の母校であることがわかりました。

校内に、高つきレモンや莊川桜など、彼にゆかりのある植物が多くあります。「何か関わりを持ちたい！」と強く思い、高つきレモンなど花壇のお世話をすることができる園芸部に入部しました。

園芸部では、高崎達之助氏や、明治時代から茨木高校に保存されている貴重な標本のことを調べておられる先生に出会い、日々新しいことを学び、研鑽できています。

人との出会いも、No.1です。



## 「しゃかたん」との繋がり

私は、中学校で「社会科学探究同好会（しゃかたん）」に所属していました。その際、高崎達之助氏と高つきレモンの関係について探究しました。また、部員と協力して苗木から高つきレモンを育てて、様々な製品に加工し、その過程を発表するという経験をしました。

その中でも、コロナ禍ゆえに製作して各教室に配付したレモン消毒液は好評をいただきました。

その結果、多くの人に高つきレモンのことを伝えられたうえに、高つきレモンがもつ無限の可能性に気づきました。

まさに、可能性No.1です。



## 知ってほしい高槻の宝

このように中学高校と一緒に育ってきた高つきレモンは私にとって、ただのレモンではない大切なものです。

このポスターを読んで、「高槻の宝石」とも思えるような高つきレモンのことを知っていただけたら幸いです。

甘酸っぱくてとてもおいしいので、ぜひ見かけたら手に取ってみてください。



一緒に育ってきた  
高つきレモンはNo.1!

